

# 乗り合いバスの土日運 行で社会参加促進を

乗り合いバスは平成14年に、通院・通学の足を守る目的で開始されました。現在は、高齢化の進行に伴い、高齢者の外出の機会をつくり、社会参加を促すことにも大きな役割を担ってきています。安江ゆう子市議は、市民がもっと外出しやすくなるように、土曜・日曜にも運行を拡充するよう求めました。



安江 高齢者の外出がもたらす、社会参加効果、健康増進効果について、どのように認識されていますか。

長寿介護課長 高齢者の認知症予防や健康寿命の延伸について、高齢者が人とかかわる様な社会活動は大変大きい。社会活動の活発な高齢者は、認知機能が高く、スポーツや趣味など複数の会に参加されるほど要介護リスクは低下するというデータもあり、外出は大変効果が大きく、外出の手段の確保は、高齢者にとって大変重要と感じている。

安江 土日のイベント時に乗り合いバスが運行されていない為、自家用車を持った人

け、或は、会場周辺の人だけしか参加できないのでは、全ての人の社会参加を促すという点では、望ましくないと考えます。いかがですか。

長寿介護課長 土日であっても、外出の手段は確保されるのが望ましいと考える。

安江 どのように解決されるお考えですか。

商工振興課長 土日運行には、運転手の確保、バスの増大、経費の増額の問題があり、現時点では、土日の運行は考えていない。

安江 土日の運行が、社会

参加の観点から効果があるとすれば、運転手確保等の課題を解決し、社会参加を進める。その考えに転換する時期に来ているのではありませんか。

市長 外出の機会は、リスクを軽減させると思うが、バスを動かすだけで、全てが解決するという訳ではない。高齢者にとって効果があるのかどうか、十分見極めた中で、現時点では難しいと考える。

安江 青島地区、大石地区の住民の方々から、外出の利便性を求められています。いかがですか。

商工振興課長 青島からの乗り継ぎは、どういうダイヤが最適かを検討したい。大石地区からの星鹿循環線の増便は考えていない。

## 平成30年度一般会計予算

### わくわく・おでかけ券が 今年度も発行 赤潮対策事業に予算つく

70歳以上の高齢者、または障害者手帳所持者を対象とした「わくわく・おでかけ券（外出支援券と施設利

用券）が今年度も発行されます。申請受け付けは、5月7日から始まります。昨年伊万里湾で発生した大規模赤潮被害を受けて、赤潮対策事業に予算が付きました。そのほかにも、調川公民館新築事業、スポーツセンター整備事業、鷹島地区一般廃棄物広域化事業などに新しく予算が付きました。

## いっしょけんめい 安江ゆう子市議



3月23日 原発再稼働反対の宣伝



3月27日 今福児童公園リニューアルオープン



4月9日 御厨中学校入学式



4月10日 星鹿小学校入学式



4月20日 鷹島町埋蔵文化財センターの3Dアート



4月28日 ひかりヶ丘保育園の竣工式